

# 藤倉大

—現代音楽と古楽の饗宴—

# アルディッティ弦楽四重奏団

アルディッティ弦楽四重奏団  
ジェイク・アルディッティ  
[カウンターテナー]

2012年9月16日[日] 15:00開演  
上野学園 石橋メモリアルホール  
全席自由 [1階席のみ]  
一般4,000円 学生1,500円

IMHフレンズ先行発売 4月4日[水]  
一般発売 4月18日[水]  
IMHオンラインチケット  
[www.ishibashimemorial.com](http://www.ishibashimemorial.com)  
東京文化会館チケットサービス  
03-5685-0650

Dear Mr. Fujikura

「他の連中が弾けないくらい難しい曲を書いてくれ！」  
アルディッティ弦楽四重奏団  
Arditti String Quartet



ISHIBASHI  
MEMORIAL  
HALL



WIGMORE  
HALL

# 藤倉 大+アルディッティ弦楽四重奏団

—現代音楽と古楽の饗宴—



藤倉 大 ©Ai Ueda



ジェイク・アルディッティ ©Marta Literska



アルディッティ弦楽四重奏団 ©Astrid Karger

## 藤倉 大《フレア Flare》日本初演!

《フレア》は2011年2月、ロンドンのウィグモア・ホールで世界初演され話題を集めた。

同ホールとの第一回共同事業として委嘱に参画した上野学園 石橋メモリアルホールがお届けする、一回きりの異色のプログラム。

《フレア》とファーニホウの《弦楽四重奏曲第6番》[日本初演]をバロックの名曲編曲版[パレデス]がとり囲むプログラムは、英国作曲界、最新情報の発信の場となる!

今回は僕がアルディッティ弦楽四重奏団に書いた作品《フレア》が上野学園 石橋メモリアルホールで日本初演される事をととても嬉しく思っています。アルディッティカルテット、と言え、僕が十代の頃に目の前で観て聴いた彼らのリゲティの四重奏2番の演奏が衝撃的でそれから何回も何回も生で聴く事ができ、特に作曲界ではアイドル的な存在なのは言うまでもありません。僕の作品がイギリス国外で演奏され始めた頃[2004年頃]、よく同じ音楽祭でアルディッティの公演の一つ前か、後の公演で僕の作品が演奏され、アーヴィンが僕の作品だけチラッと見に来てくれていたのは知っていました。それから何回かアルディッティへ新作を書く話しが出てはいたのですが、いろいろな事情で叶わず、やっと今回こうして書く事ができ、しかもウィグモア、上野学園 石橋メモリアルホールの共同委嘱で、日本初演が上野学園 石橋メモリアルホールでされる事については大変嬉しく思っています。作品はアルディッティならではの演奏法と、彼らにとっても意外[!?]な演奏法もまぜて作りました。彼らからのリクエストはただ一つ、「他の連中が弾けないくらい難しい曲を書いてくれ!」でした。お楽しみに!

藤倉 大

### 同日開催: 特別教育プログラム

#### 1: 青少年のための公開ゲネプロ [対象: 15-35歳、100名。無料。事前申込制。8/24締切。]

ヒルダ・パレデスとアルディッティ弦楽四重奏団、ジェイク・アルディッティによるリーディング・セッション—作曲家と演奏家の対話—を公開します!  
作曲家が楽譜に書ききれなかったことは…?

#### 2: 終演後のヒルダ・パレデスによるミニトーク [対象: チケットご購入のお客様全員]

終演後、ヒルダ・パレデスが今回のプログラムの裏話について語ります。  
古楽の佳曲でアルディッティ弦楽四重奏団の特徴を活かす編曲、その秘密とは?

公開リハーサルのお申込み、詳細は、[www.ishibashimemorial.com](http://www.ishibashimemorial.com)をご参照ください。

### 【曲目】

カルロ・ジェズアルド[1566-1613][ヒルダ・パレデス編曲]: 悲しや 私は死ぬ

ジョン・ダウランド[1563-1626][ヒルダ・パレデス編曲]: 暗闇に私は住みたい\*

カルロ・ジェズアルド[ヒルダ・パレデス編曲]: 大胆な小さい蚊が

ブライアン・ファーニホウ[1943-]: 弦楽四重奏曲第6番 **日本初演**

— 休憩 —

ジョン・ダウランド[ヒルダ・パレデス編曲]: 流れよ 我が涙\*

カルロ・ジェズアルド[ヒルダ・パレデス編曲]: 美しい人よ、心を持ち去るのなら

藤倉 大[1977-]: フレア **Flare** **日本初演**

ヒルダ・パレデス[1959-]: カンシオネス・ルナティカス\* **日本初演**

\*ジェイク・アルディッティ[カウンターテナー] 出演作品

### ジェイク・アルディッティ/Jake Arditti

英国ギルトホール音楽演劇学校卒業後、英国ロイヤルアカデミーにて修士号取得。在学中より、英国国立歌劇場(ENO)、クラインドボーン音楽祭など、欧州各地の歌劇場や音楽祭に多数出演。2011年2月のウィグモアホールの鮮烈なデビューが英ガーディアン紙で紹介され、話題となる。ヘンデルのオペラを中心としたレパートリーには定評があり、12年4月の「Riccard Primo」公演でみせた、輝かしいテクニックはもとより、舞台上の圧倒的な存在感により、英国主要各紙で絶賛を得た。

### アルディッティ弦楽四重奏団/Arditti String Quartet

1974年にアーヴィン・アルディッティが創設。20世紀以降の作品に対する深い解釈と卓抜した演奏は世界各地に広く知られ、高い評価を確立。1999年音楽における「生涯の功績」によりジメニス音楽賞受賞。これまでに数百もの弦楽四重奏曲が同団のために作曲され、ケージをはじめカーター、リーム、シュottハクセン、クセナキス、細川俊夫、西村朗などの数多くの作品を世界初演。作曲家とともに作品の解釈を深めていく彼らの演奏を経て、それらの多くが今世紀の代表的なレパートリーとなっている。CDは180枚を超え、ナイヴ・モンターニュ(フランス)から42枚リリース。数々の現代作品を収めたシリーズのほか、新ウィーン楽派の作曲家による作品の初デジタル録音のシリーズは1992年国際批評家賞を受賞。ペリオが亡くなる直前に、氏の弦楽四重奏曲を全曲録音。1999、2002年にグラモフォン賞受賞。日本にもたびたび来日、2006年にコンテンポラリーダンスの白井剛とのコラボレーションによる、ジョン・ケージの「44のハーモニー」(アパートメントハウス1776より)ダンスヴァージョンを初演し、2007、08年と再演を重ねている。

•アーヴィン・アルディッティ[第1ヴァイオリン]/Irvine Arditti, violin •アショト・サルキシヤン[第2ヴァイオリン]/Ashot Sarkissjan, violin  
•ラルフ・エーラーズ[ヴィオラ]/Ralf Ehlers, viola •ルカス・フェルス[チェロ]/Lucas Fels, cello

### 【主催情報】

主催: 上野学園 石橋メモリアルホール

企画: 上野学園大学音楽文化研究センター

助成: 大和日英基金

招聘: 株式会社オカムラ・カムパニー

後援: プリティッシュ・カウンシル

協力: Wigmore Hall、公益財団法人せたがや文化財団音楽事業部、津田塾大学 津田ホール、一般社団法人日英協会

### 【お問合せ】

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人 上野学園内

TEL: 03-3843-3043 [平日10:00-17:00] FAX: 03-3843-6254

[www.ishibashimemorial.com](http://www.ishibashimemorial.com)

◎最寄駅: JR各線・東京メトロ「上野駅」徒歩8分

アルディッティ弦楽四重奏団 東京公演/ジョン・ケージ生誕100周年プロジェクト  
9/12[水] 19時開演/世田谷パブリックシアター

[アルディッティ弦楽四重奏団+野村萬斎/中川賢—ケージの中の日本—]

9/25[火] 19時開演/津田ホール

[アーヴィン・アルディッティ 伝説の〈フリーマンエチュード〉を弾く]

[各公演の詳細は、各ホールのウェブサイトをご参照ください]